

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

瑞江第三中学校

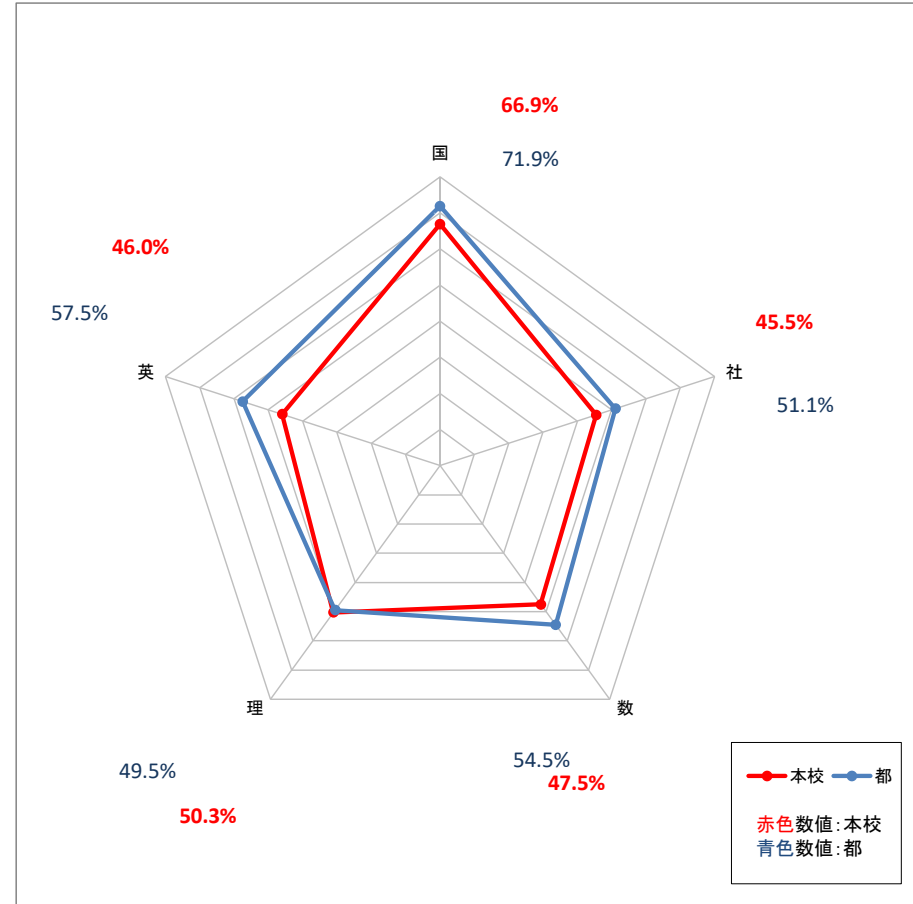
国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	74.8%	58.9%	79.3%	69.1%	71.9%
本校	68.3%	53.8%	77.4%	62.0%	66.9%
都との差	-6.5	-5.1	-1.9	-7.1	-5.0

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
東京都	48.7%	61.9%	41.1%	51.1%
本校	43.7%	55.4%	35.5%	45.5%
都との差	-5.0	-6.5	-5.6	-5.6

数学	教科の観点			教科の合計
	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	
東京都	31.4%	62.4%	63.3%	54.5%
本校	27.8%	50.7%	61.3%	47.5%
都との差	-3.6	-11.7	-2.0	-7.0

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	43.9%	60.2%	47.4%	49.5%
本校	44.4%	59.1%	49.3%	50.3%
都との差	0.5	-1.1	1.9	0.8

英語	教科の観点			教科の合計
	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
東京都	46.1%	62.4%	59.2%	57.5%
本校	24.6%	55.3%	48.8%	46.0%
都との差	-21.5	-7.1	-10.4	-11.5



《都との比較にみる本校の状況》

・理科が都の平均に比べて教科の平均正答率が高い。項目別では、理科の「科学的な思考・表現」「自然現象についての知識・理解」で都の平均を上回っている。

・国語「読む能力」、数学「数学的な見方や考え方」「数量や図形などについての知識・理解」、理科「観察・実験の技能」が、都の平均に近い値である。

・数学「数学的な技能」、英語「外国語表現の能力」「言語や文化についての知識・理解」について、特に身につけさせていくことが必要である。

《授業改善のポイント》

・各教科への意欲が高く授業は落ち着いて行われています。生徒の知識・理解の質を高め資質や能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を目指します。そのためには、授業の創意工夫や教科書、教材等の活用改善に努めます。

・基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力に基づく問題を解決する能力を確実に身に付けさせるため、「授業のねらい」を絞り、生徒に「わかった」「できた」という実感をもたせられるように、指導方法を組み立てることを目指します。

《家庭・地域への働きかけ》

「瑞三文武両道8か条」を策定しています。

- ① しっかりと朝食を食べる。(健康な体作りの第一歩)
- ② 決まった時間に排便する。(腸内の健康で気持ちもすっきり)
- ③ 余裕をもって登校する。(準備万端、校門で元気なあいさつ)
- ④ 授業に集中する。(適度な睡眠と朝食で授業中の居眠りなし)
- ⑤ 適度に運動する。(代謝をよくしてからだ中の細胞を活性化)
- ⑥ 毎日2時間勉強する。(テレビ、スマホ、ゲームを合わせて2時間以内)
- ⑦ 毎日お風呂に入る。(ぬるめのお風呂で心身のリフレッシュ)
- ⑧ しっかりと睡眠をとる。(深い睡眠で目覚めすっきり8時間)

を守ることを働きかけています。